

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスめいほう		
○保護者評価実施期間	令和8年2月23日	～	令和8年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)
			7
○従業者評価実施期間	令和8年2月23日	～	令和8年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)
			10
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用児が通所を楽しみにしていて、入浴ができること	・職員が明るい ・重症心身障がいでも、利用児の自己決定を尊重している ・広い浴室で、ユースラックを利用し、2人体制で利用児も介助者も安心して入浴ができる	・活動等がマンネリ化しないように、新しいことや自宅ではできないようなことに取り組んでいきたい
2	・看護師が多く配置されているので、医療的ケアがある児童が安心して利用できること	・医療的ケアがなくても、体調管理に留意し、安心して過ごすことができる ・主治医の指示書により、安心してケアを受けられ、保護者にならない家庭と変わらない方法で処置を行う	・完全な感染部屋がないので、感染管理には気をつける ・わからないことなどは保護者に必ず確認し、安全に努める
3	・言語聴覚士、理学療法士が配置されており、専門的支援がうけられること	・外部研修に参加しなくても、小児専門の理学療法士から学ぶことができる ・重症心身障がい児を受け入れてるため、姿勢保持や嚥下等で専門的支援がうけられる	・セラピストでなくてもどの職員でもできるように基礎知識を学べるように取り組んでいきたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・職員の人員配置には問題がないが、保育士が欠如しているところ	・限られた職種で活動を考えるので、その活動が正しいのかという疑問	・保育士の確保
2	・朝礼や終礼を毎日行うのは難しい	・送迎が2人介助のため、職員がそろって行うことが難しい ・利用児が毎日いるため、ミーティングの時間がなかなかとれない	・問題等が起こった時には改善にむけて行っているが、朝礼か終礼がどちらかできるように時間を確保していく
3	・火事を想定した訓練はできているが、防犯や地震を想定した訓練ができていない	・重症心身障がい児のため自分で動くことができないこともあるため、地震を想定するとむやみやたらに動かないほうが安全ではと、感じているため	・地震に関しては、職員の意識が薄いのでいつ、何が起こるか分からないのでまずは、職員の意識改革を図る

この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。

「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		
	2	職員の配置数は適切であるか		○	ギリギリの職員数のため、利用児と職員数が同数だと業務に余裕がない
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		スロープ等バリアフリー化されているため、車いすやバギーで利用しやすい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	△		デイルームに関しては、清潔で心地よく過ごせる環境ではあるが、インフルエンザ等の感染症がある場合のきちんとした感染部屋がないのは不安
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○	ミーティングの時間が少ないため、広くは参画していないと思う
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	業務改善に結びついていない
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		職員向けのティーチャートレーニングや小児専門の理学療法士によるリハビリの勉強等ができる環境にある
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	フォーマルなアセスメントでできればいいと思う
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		前期と後期に個別面談を行う前に職員間で評価を行っている

支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	個々で活動内容を考えたうえで、終了後意見等をもらい、次回につなげている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○	日替わりでリーダーを決めて偏らないよう実施できている
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	毎日、定期的には行っていないが問題があったときなどは、その都度話し合いを行っている その日に出勤した職員のみでの情報共有になるため、全職員に共有できるようノートに記入し、グループLINEで必ず送信するようにしている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	△	記録の徹底はしているが、すべての利用児の改善までには至っていない
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	6ヶ月ごとに行っている
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	主治医から指示書を頂き、嘱託医は毎月土曜日に往診にきてもらい、情報共有を行っている
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	保育園とは送迎の際に先生と情報共有を図っている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	特別支援学校(小学部)へ移行する子がいるが、情報共有はできていない。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	△	他事業所との情報共有はグループLINEや共通ノートでできているができていない児童もいる
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	できていない
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	部会の案内を見逃すこともある

保護者への説明責任等	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	△		適切かどうかは保護者の判断なのでわからない
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		季節の行事等に参加してもらい、保護者同士の交流の機会を設けている
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	△		きちんと対応しているが、適切かどうかは保護者の判断になるのでわからない
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月お便りや会社全体でブログを発信している
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報の同意等の確認を年に1回は行うようにしている
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	以前はできていたが、自治会のこども会が解散してしまえなくなった	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○	職員には周知し、机上訓練までは行っているが発生を想定した訓練は実施していない
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回実施できています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	△		服薬に関しては、お薬手帳等をコピーし、変更等を確認したりしているが看護師間で情報共有はできているいるが職員間ではできていない
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		個別面談で保護者にも確認している
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		起こった後に必ず情報を共有し、改善に努めている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		年1回は必ず研修を受け、伝達講習を行い、対応を行っている

	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		説明、同意はとっている
--	----	---	---	--	-------------

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	86%			14%	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%				
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	86%	14%			
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	86%	14%			
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	86%	14%			
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	100%				
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	57%			43%	
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	86%	14%			
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	100%				
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	86%	14%			

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%				
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	71%	29%			
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	71%	14%		14%	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	71%	14%		14%	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100%				
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	100%				
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	57%	43%			
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	57%	43%			
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	100%				
	23	事業所の支援に満足しているか	86%	14%			